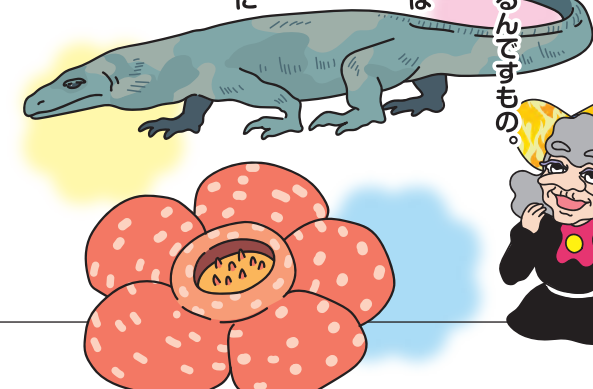




「あ、これはセッココのおみやげ。  
おいしそうなので、さっそく食べてみるわ。」  
「このあたりの薬草が効くんじゃないかな。」  
薬草をいれて、わたしの元へと戻ってまいりました。  
それについているうちに、サクターローはかざらさばらに  
薬草をいれて、わたしの元へと戻ってまいりました。



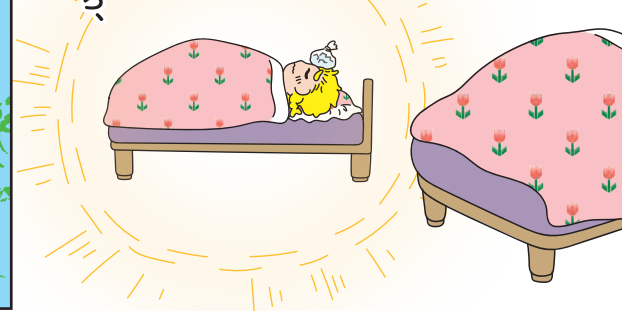
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。  
いま、この時だって、リョウちゃんは熱で苦しんでいるんですよ。  
でも、一方で、わたしは「リョウちゃんもさういふときは  
どっつと構える主義でもありません。」  
ええ、このリョウちゃんを「尊厳」に守るつもりです。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」



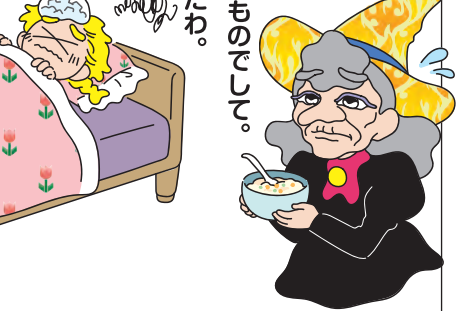
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」



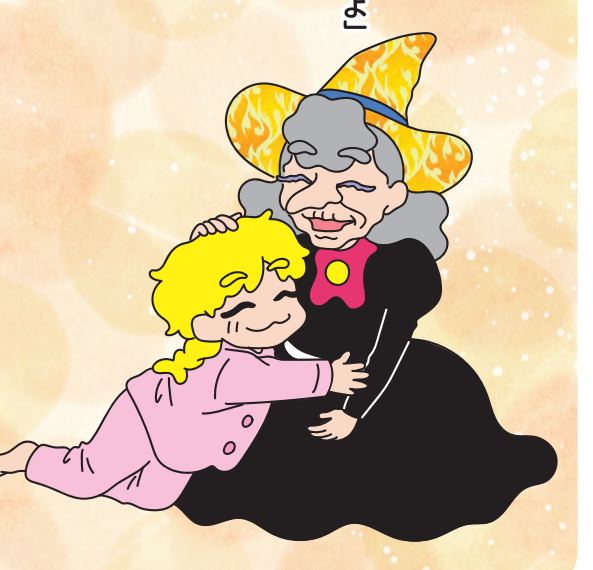
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」



「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」



「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」



Q おおばーばの問題

3つの薬草A、B、Cがあります。どの薬草も、病気に効く成分a、b、cを持っていて、  
薬草Aには一束あたりaが1グラム、bが2グラム、cが3グラム  
薬草Bには一束あたりaが1グラム、bが3グラム、cが9グラム  
薬草Cには一束あたりaが5グラム、bが4グラム、cが2グラム含まれています。  
サクターローがいうには、成分a、b、cがみな同量になるように調合するのが  
よいそうなのですが、そのようにするには、薬草A、B、Cを  
それぞれ束の本数の比で何:何:何にすればよいでしょうか。

A 問題の解答

aとbとcをそれぞれ[あ] (束)、[い] (束)、[う] (束) 使うとしましょう。  
薬草A、B、Cに含まれる成分aと成分bの差に着目すると成分a、bが同じになるようにする  
には、 $[あ]+2 \times [い]$  が  $[う]$  に等しくなるようにしなければいけません。  
また、成分b、cが同じになるようにするには、 $[あ]+6 \times [い]$  が  $2 \times [う]$  に等しくなるようにし  
なければいけません。  
よって、 $2 \times [あ]+4 \times [い]$  が  $[あ]+6 \times [い]$  と同じになるとわかるので、 $[あ]=2 \times [い]$  で、 $[う]=$   
 $[あ]+2 \times [い]$  より、 $[う]=4 \times [い]$  従って、 $[あ]:[い]:[う]=2:1:4$  とわかります。

「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」  
「あ、あ、あ、そんなことしている場合じゃありませんわ。」

人物紹介

未熟な魔女「まじょまじょ」を卒業するために日々奮闘中の、どこかおっちょこちょいな魔女。最近、すこすついろいろ魔法が使えるように。目の前のものをかわいいへびに変えるのが特技。

リョウちゃん

おおばーば (本名はセッココ)

手厳しさもあればおおらかでやさしいところもある。なぜかリョウちゃんと気の合う「偉い魔女」。保護者役も兼ねる。